

2024年1月1日～2024年12月31日 第11期事業報告



Segue通信

財務ハイライト

売上高

18,717

 百万円

営業利益

720

 百万円

経常利益

1,060

 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

507

 百万円

売上高
8期連続
伸長!

2024年12月期 連結業績ハイライト

売上高

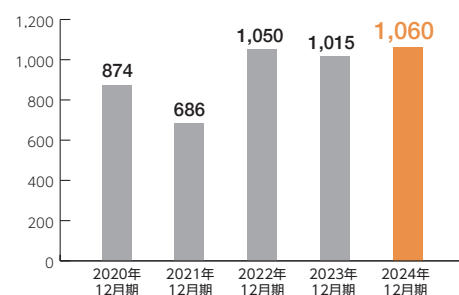
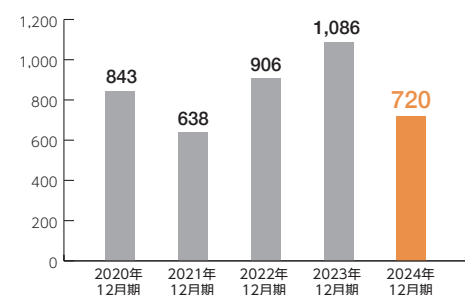
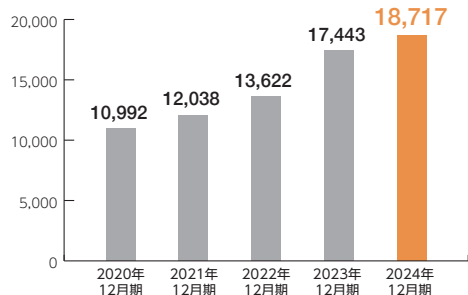
(単位: 百万円)

営業利益

(単位: 百万円)

経常利益

(単位: 百万円)



■ 2024年12月期 業績のポイント

納期遅延解消特需のあった前年度を上回り、VADビジネスを中心に、売上高、売上総利益は過去最高を達成しました。ストック性の高いサービスは順調に進捗し、特にセキュリティ関連商材は昨年に引き続き中央省庁向けの販売が好調に推移しました。システムインテグレーションビジネスは中型案件を積み上げ、エンドユーザー開拓が進みました。

■ 2025年12月期 業績予想のポイント

エンドユーザーから直接受注する大型案件の獲得と、新たにグループ入りしたFirst One Systems Co., Ltd.および株式会社テクノクリエイションの数字の通期寄与等により、売上高および利益の増加を見込んでおります。



トップインタビュー

代表取締役社長

愛須 康之

インタビュアー／叶内文子(アナリスト)

先行投資により大きく成長していくための体制が
整いつつあります。2025年12月期は、掲げた計画を
超えられるよう、全力を尽くしてまいります。
今後の業績、施策にご注目いただきたいと思います。

Q 2024年12月期の業績はいかがでしたか？

A 当期の業績ですが、販売管理費が大きく増大して営業利益は減益となりましたが、売上高、売上総利益は半導体の納期遅延の解消による特需で大きく伸びた2023年12月期をさらに上回りました。なかでも売上高は増収となり8期連続で過去最高値を更新し、売上総利益は11.4%増加しました。もう少し伸ばすことができましたと反省する点もあります。こうした中、営業利益については当初より昨年対比で減益の予算としておりましたものの、高度人材の採用、M&A関連費用、株主優待にかかわる費用等が想定を上回ったため大きく減益となりました。

また、2024年12月期を初年度とする中期経営計画『Segue300』の達成を目指し役員、事業部長クラスの人材複数名の採用をいたしました。M&A関連ではタイのFirst One Systems Co. Ltd.および株式会社テクノロジーエーションの買収に伴う仲介手数料やデューデリジェンス費用として1.3億円を計上しました。株主優待の実施には、予想を大きく超える費用として2.7億円がかかりました。ただし、これらの費用を除けば増益基調であり、基礎的な事業成長は維持しております。企業や官公庁のネットワークインフラやセキュリティ対応への需要は引き続き堅調です。特にランサムウェアを含むサイバー攻撃への備えは怠ることはできません。先進のグローバルセキュリティプロダクトに加え、自社開発製品をもち、幅広いサポートまで担える当社にとって事業環境は良好だと考えています。

事業別にみますと、主力のVAD (Value Added

Distributor)ビジネスは、海外メーカーの優れた製品にユーザーの要望に応じた付加価値を加えて提供しています。特需のあった2023年12月期を上回る売上を計上、利益面ではサポートサービスの利益率が改善し大幅増益となりました。特に、セキュリティ関連製品が中央省庁など向けに大きく成長しました。システムインテグレーションビジネスは、2024年6月にグループ入りした株式会社テクノロジーエーションの売上が寄与しましたが大型案件があった昨年対比では減収となりました。

自社開発ビジネスでは、「RevoWorks (レボワークス)」が着実に案件を積み上げています。自治体向けの需要は一巡しましたが、高いセキュリティ基準を必要とする政府機関や生命保険・地方銀行に導入が進んでいます。仮想ブラウザ方式でインターネット分離を実現した「RevoWorks SCVX」は、警察機関などで採用されています。

セキュリティ運用や脆弱性診断などのサービスを提供するセグエセキュリティ株式会社は、事業開始3年目にして黒字化を達成しました。

2024年12月期から海外ビジネスを新たな売上区分としました。従来、システムインテグレーションビジネスに区分していたタイのISS Resolution Limitedに、2024年5月に子会社化したFirst One Systems Co., Ltd.が新たに加わり、タイでの事業基盤が整いました。まずはタイでの事業の成功を優先し、次の展開先としてASEANのシンガポールやマレーシア等を検討中で、今後海外事業についても積極的に展開していく所存です。

Q 2025年12月期の計画はいかがですか？

A 2025年12月期は、売上高225億円(前年同期比20.2%増)、営業利益12.6億円(同75.0%増)の計画です。達成できれば、ともに過去最高を更新することになります。

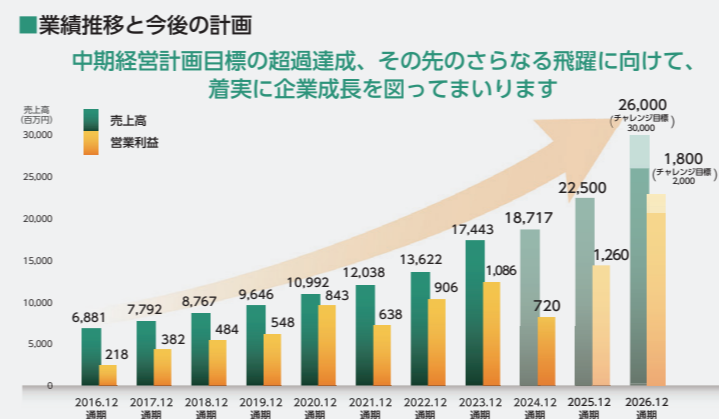
そのための重点施策として、VADビジネスでは、2024年9月に公共や文教向けに特化したデジタル・ガバメント推進部を設立しておりますが、デジタル庁の動きを見つ官公庁、自治体の大型案件の獲得を推進いたします。そのためには、コンサルティング機能も拡充し、東・西日本の事業を統括する組織体制とし、技術支援機能を強化しています。また、自社開発ビジネスでは、新製品のリリースで事業拡大を図ります。システムインテグレーション事業では、営業体制、エンドユーザーへの直接訴求(ハイタッチ・アプローチ)を強化したことで、過去最大級の案件獲得に成功しています。これらが売上として立ってくる見込みです。さらに、新たにグループに加わったテクノロジーエーション社とのシナジーを最大化していく方針です。テクノロジーエーション社は、当社同様に技術者中心の会社です。情報通信インフラサービスに特化したエンジニアリングサービス業を展開しており、大手通信キャリアや官公庁・教育機関等に、ネットワークやサーバの設計構築から運用・保守・監視サービスまで一貫して提供しています。技術研修体制も充実しており、採用や未経験者の教育にも力を入れています。既存のシステムインテグレーションビジネスを強化できるほか、今後さらに注力していきたいサイバーセキュリティ分野でも力を発揮すると考えています。

海外ビジネスでも、グループ入りしたFirst One Systems社とのシナジー効果の最大化を目指し、日系企業へのアプローチを強化します。2022年にグループ入りしたISS Resolution社は、もともとはユニシスのタイ法人でミデル・テクノロジー社のサービスサポートを担っている会社です。安定した売上を上げています。一方、First One Systems社は、海外製品を中心に展開してきた営業力に強みをもっています。この両者の組み合わせで新規開拓が進んでいくと考えています。2025年12月期は、投資した人材・技術・組織の成果を最大限に活かし、しっかりと成長を実現します。

Q 中期経営計画の進捗状況はいかがですか？

A 2024年12月期～2026年12月期の中期経営計画「Segue300」では、最終年度における売上高260億円、M&Aを含むチャレンジ目標として2030年3月期における300億円を目指しています。

当期2024年12月期には、人材採用やタイでのM&Aなど、下準備は終えたとみています。この路線を



さらに進めることで、売上高目標達成の手ごたえを感じています。

Q 株主還元についてお聞かせください。

A 当社は、2023年12月期から中間配当を開始しました。2024年3月1日付で1株につき3株の株式分割を行い、2024年12月期は、中間配当5円、期末配当6円、年間11円と実質1円増額しました。2025年12月期は、中間配当6円、期末配当7円、年間13円の配当を計画しています。

2024年12月期に導入を決定した株主優待制度では、毎年3月末日と9月末日を基準としていましたが、株主名簿管理の効率化と費用低減の観点から、2025年12月期以降は株主優待の基準日を12月末に変更し、QUOカード10,000円を贈呈します。継続保有の株主様には、さらに10,000円分を贈呈することにしています。長期で株主になっていただきたいという願いからです。

Q 最後に株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

A 本当に多くの皆様に新しく株主となっていただき、また上場当初から長期にわたり保有いただいている株主の皆様にも、心より感謝申し上げます。皆様のご支援のおかげで、当社は成り立っております。

今回、株主優待を変更したことにつきましては、優待を期待されている方々に混乱を招き誠に申し訳なく思っております。想定よりも優待費用が増加した点、また機関投資家の保有比率が低下した点などが理由とな

ります。今後は配当と株主優待のバランスをとる形で継続していきたいと考えております。

また、業績向上のため、売上高や営業利益の拡大、さらには新しい施策の実施にも取り組んでまいります。事業の成長により企業価値の向上をはかり、より良い成果を株主の皆様にお届けできるよう努めてまいります。

皆様のおかげで2024年12月期は東京証券取引所プライム市場維持基準を満たしたとの通知をいただきました。今後もこの基準を満たし続けるよう努力してまいります。

2024年12月期は、株主の皆様にとって満足のいく成果を提供できなかったかもしれませんが、2025年12月期は、掲げた計画を超えられるよう、全力を尽くしてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも、より一層のご支援・ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



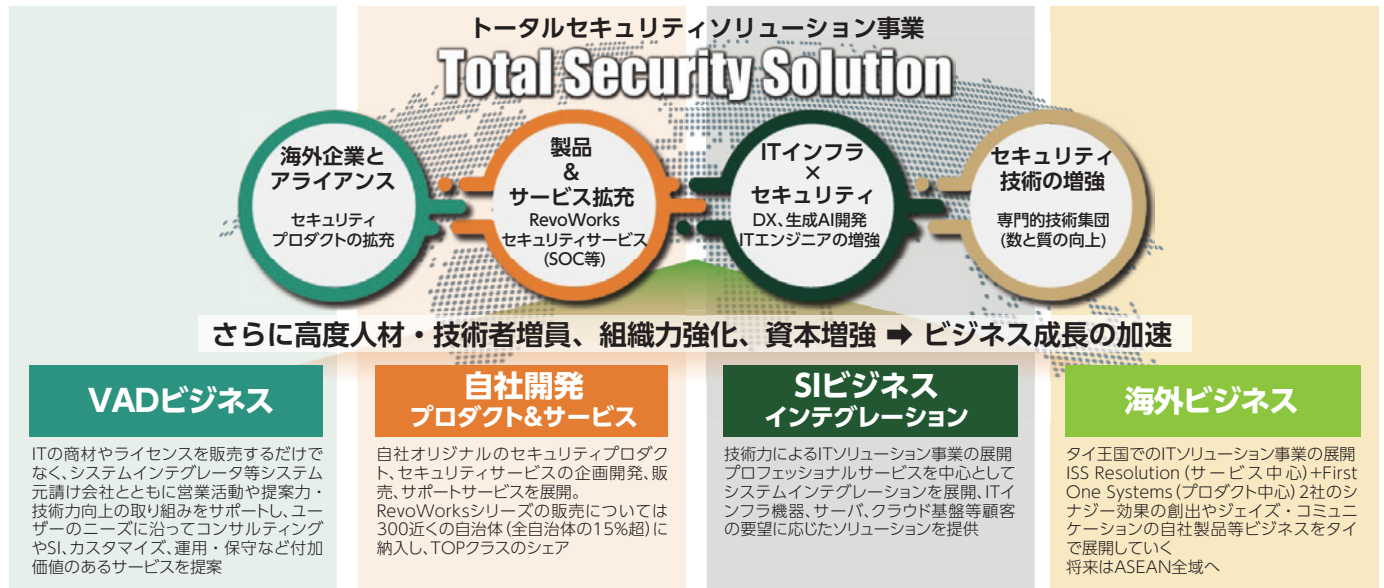
インタビュアーの叶内文子さんとともに
(2025年2月18日インタビュー実施)

セグエグループの事業と強み

セグエグループは快適で安全なIT基盤を提供し社会に貢献する企業グループです

当社グループは、従業員の約7割を技術者が占める、IT及びセキュリティの技術者集団です。専門性の高い海外セキュリティ製品やITインフラ製品の技術を持ち、提案から構築、保守、運用支援に至るまでのトータルサービスを提供しています。その技術力を生かしてセキュリティ関連ソフトウェアやセキュリティサービスの開発を行い、情報セキュリティ&ITインフラを統合した『唯一無二のトータルセキュリティソリューションカンパニー』を目指しております。

セグエグループの主力ビジネス



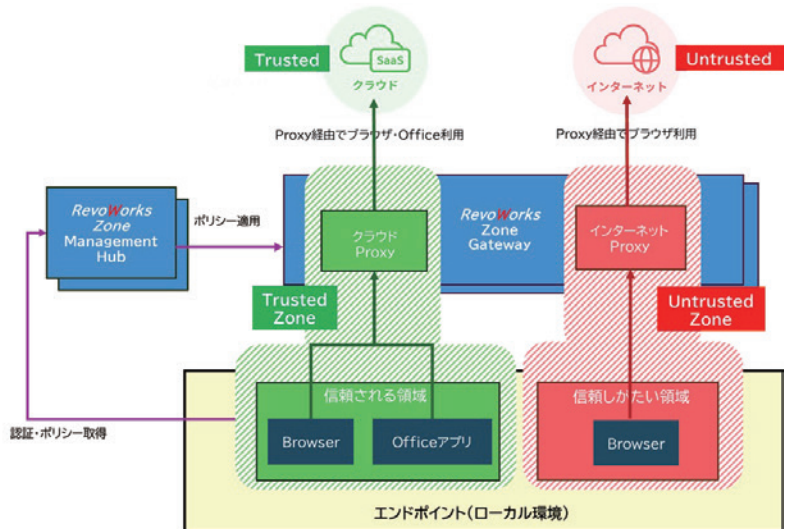
ビジネスピックアップ

1 自社開発ビジネス新製品の開発開始

RevoWorks ZONEの開発

安全なクラウドとインターネットアクセスを実現する「RevoWorks ZONE(レボワークスゾーン)」の開発を開始しました。インターネット分離だけでなくゼロトラストを含む全市場に訴求し、新たな市場獲得を目指します。

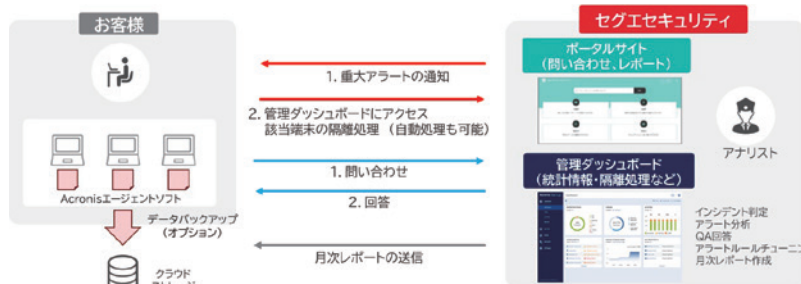
[2025年4月1日販売開始予定]



2 セグエセキュリティのマネージド EDR サービス

セグエセキュリティは、新たなセキュリティサービスとして、エンドポイントセキュリティとデータ保護をセットで提供するマネージド EDR サービスの提供を2025年1月17日に開始しました。

- サービスの 特長**
- ① 当社アナリストがセキュリティ運用をご支援
 - ② 業界最安水準のマネージドサービス
 - ③ 単一エージェントでデータバックアップ・保護機能も提供



※EDRとはEndpoint Detection and Responseの略。エンドポイント(パソコンやサーバーなど)のセキュリティインシデントを検知・対応するためのセキュリティソリューションです。

3 AIソリューションを開発

— 新たなサービス価値提供 —

◆セキュリティアセスメントAIソリューション

企業が作成しているサイバーセキュリティ対策などの文書を、最新AI技術により分析・評価を自動化します。

◆サポートAIソリューション

サポートサービス業務における生成AIとRAG (Retrieval-Augmented Generation) 技術を活用し業務の効率化を実現。メーカー等のサポート業務ナレッジの有効活用と効率化、品質向上および属人化を解消します。

Value Up

- ★ 品質の標準化と最大化
- ★ 作業効率の大幅向上
- ★ コストの大幅削減

証券コード：3968

セグエグループ株式会社 代表取締役社長 愛須 康之

第11期定時株主総会決議ご通知

当社は2025年3月26日(水)に第11期定時株主総会を開催し、下記のとおり報告並びに決議されました

- 報告事項**
- 第11期（2024年1月1日から2024年12月31日まで）事業報告の内容及び連結計算書類の内容及びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第11期（2024年1月1日から2024年12月31日まで）計算書類の内容報告の件

- 決議事項**
- 第1号議案 剰余金処分の件 原案のとおり承認可決されました
第2号議案 定款一部変更の件 原案のとおり承認可決されました
第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)3名選任の件 原案のとおり承認可決されました
第4号議案 監査等委員である取締役1名選任の件 原案のとおり承認可決されました
第5号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件 原案のとおり承認可決されました

会社情報／株式情報 (2024年12月31日現在)

会社概要

商号 セグエグループ株式会社
本社所在地 東京都中央区新川一丁目16番3号
資本金 533,369千円
従業員数 709名(連結)

役員 (2025年3月26日現在)

代表取締役社長 愛須 康之
取締役 福田 泰福
取締役 渡邊 辰夫
社外取締役(監査等委員) 寺田 有美子
社外取締役(監査等委員) 三露 正樹
社外取締役(監査等委員) 高田 隆太郎

株式の状況

発行可能株式総数 108,000,000株
発行済株式総数 32,560,086株 (自己株式360,700株を含む)
株主数 12,150名

大株主

氏名または名称	所有株式数	持株比率
愛須 康之	10,296,300株	31.97%
有限会社エーディーシー	2,812,800株	8.73%
セグエグループ従業員持株会	592,900株	1.84%
株式会社オービック	576,000株	1.78%
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	552,900株	1.71%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	311,100株	0.96%
佐伯 知輝	302,400株	0.93%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS SEC LENDING	294,100株	0.91%
中村 時彦	282,467株	0.87%
田中 博章	270,000株	0.83%

(注) 1. 持株比率は、自己株式360,700株を控除して計算しております。
2. 自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)」選入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式552,900株は含まれておりません。

株主メモ

証券コード	3968	株主名簿管理人	千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場	株主名簿管理人 事務取扱場所	千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	郵便物送付先 及び電話照会先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
定時株主総会	毎年3月		
基準日	毎年12月31日		
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL：http://segue-g.jp/ やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。		

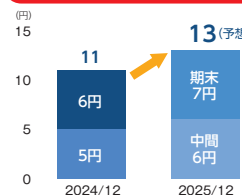
株主の皆さまへ

株主優待制度の見直しにつきまして

2025年2月13日に開示の通り、2025年12月期より株主優待制度が以下の通り変更になりました。

- 最低保有単元： 10単元(1,000株)
- 基準日： 毎年12月末
- 金額： 10,000円分のQUOカード*
ただし、同年6月末にも同じ株主番号で最低保有単元を保有していた場合は10,000円分を追加(計20,000円分)
*同等品の電子化ギフトに変更になる場合があります。

配当は2円の増配を予定



業績に関する詳細は、IRサイトをご覧ください

決算短信、決算説明会資料などを掲載しております。

<https://segue-g.jp/ir/>

セグエ IR

検索



セグエグループ株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-3 住友不動産茅場町ビル